公益社団法人　隊友会　https://www.taiyukai.or.jp/

隊友 web 版は右２次元コードから
アクセスできます。

# 隊友

令和６年７月15日
第843号　毎月１回・15日発行
発行所　公益社団法人 隊友会本部
〒162–8801 東京都新宿区市谷本村町５番１号
電　話　03 (5362) 4871・FAX 4876
購読料　１カ月 120 円（税込み送料別）、
１カ年 1,700 円（税込み送料共）
kouhou@taiyukai.or.jp

**元気のある支部を募集しています。**
字数 1500 字程度
謝礼 3000 円の図書カード

隊友会

# 令和６年度定時総会を開催

隊友会は６月24日、令和６年度定時総会及び式典をホテルグランドヒル市ヶ谷で開催した。式典では来賓及び感謝状贈呈者を招待、懇親会などもコロナ禍以前の規模で開催した。

**県隊友会長等会同**

総会に先立ち、県隊友会長等会同が実施され、岩﨑理事長の冒頭挨拶後、①令和６年度政策提言書作成の考え方及び「提言項目と要旨」②家族支援に関する連携強化施策の成果と現状③平成６年度本部の新たな取り組みの３項目の報告及び質疑応答が行われた。

令和６年度政策提言書については、戦略三文書、台湾危機などを踏まえた上での実効性の向上施策提言となる旨が説明された。家族支援連携強化施策については、新たなる中央協定締結、関係団体との窓口となる非常勤職員及び各国の家族支援実態調査の説明があった。

また、平成６年度本部の新たな取り組みとして、二次元コードを使用した議決権代理行使、「隊友」紙配布に関する全国調査結果、「隊友」紙のweb化推進状況、引越見積支援サービスの現状、アウトソーシング支援業務の現状と今後の取組みなどについて説明された。

**定時総会**

総会は、前後段に分けて実施し、藤井隊友会本部事務局長からの総会成立宣言の後、議長に林田和彦・福岡県隊友会長を、副議長に和田良作・札幌地方隊友会長を選出して討議に移り、令和５年度の事業報告、収支決算・監査報告及び役員選任の各議案（隊友５月号に同封）を満場一致で可決。その後行われた臨時理事会で、代表理事（理事長）に岩﨑茂理事を、常務理事に岩田清文理事、山村浩理事を選任し、後段の総会で報告された。

**式典・懇親会**

引き続き実施された式典は、岩﨑理事長の式辞の後、三貝哲人事教育局長から「わが国は、戦後、最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しております。このような安全保障環境下にあっても、我が国の平和と独立、国民の生命・財産、安心と安全を断固として守り抜くため、戦略三文書に基づき、防衛力の抜本的強化に向けた取組を更に加速させているところです。こうした中、本年、防衛省・自衛隊は創設70周年を迎えます。この70年間、本日お集りの方々の中には、現役の隊員として御活躍された方々も数多くいらっしゃることと思いますが、防衛省・自衛隊は国民の生命と平和な暮らしを守り抜くため、陸に海に空に、24時間365日弛まず任務を果たしてまいりました。いかなる事態にも対応し得る防衛力を構築するため、様々な取組が進められている中、自衛隊に求められる役割、また、自衛隊員に対する国民の期待はます大きくなものとなっております。防衛力の中枢は自衛隊員です。隊友会の皆様におかれましては、入隊激励会の開催をはじめ、自衛隊募集や再就職及び予備自衛官等への支援についても様々な御協力を頂いております。また、海外派遣や災害派遣にあたる部隊・隊員への激励など、防衛省・自衛隊への激励など、防衛省・自衛隊の活動にはなくてはならないお力添えを頂いておりますことに、この場をお借りして感謝申し上げます」との祝辞があった。

感謝状の贈呈では、陸海空幕僚長推薦の部隊のうち、陸自船岡駐屯地、海自東京業務隊、海自第２術科学校及び空自目黒基地の４個部隊を招待し、贈呈式を実施した。（感謝状・表彰状の贈呈名簿は４面）

懇親会は、鬼木誠防衛副大臣、増田和夫防衛事務次官、上田和幹陸幕副長、真殿知彦海幕副長、内倉浩昭空幕長、関係団体代表、中谷元隊友会顧問、佐藤正久隊友会相談役など約180名の来賓を迎え、盛大に開催された。

**全国執行役会**

翌25日、本部担当執行役及び地域担当執行役による全国執行役会がグランドヒル市ヶ谷で行われた。議題は「隊員家族支援に係る連携強化施策」と「グレーゾーン及び有事における隊員家族支援協力について」であり、前者は、それぞれの地域による温度差や実行上の問題点について、後者は、岩谷理事作成の案に基づき、ボランティアの限界などについて活発な議論がなされた。

議長の林田会長（左）と副議長の和田会長

懇親会で談笑する招待者と隊友会長等

---

# 県隊友会長等会同理事長挨拶

公益社団法人　隊友会

**岩﨑　茂**

令和６年度の県隊友会長等会同にあたり、理事長としてひと言ご挨拶を申し上げます。

最初に、西元顧問のご逝去と「令和６年４月20日、伊豆諸島沖ヘリ墜落事故」において、志半ばにして亡くなられた御霊に深甚なる哀悼の意を捧げます。また現地で実施された葬送式に参加された長崎県及び徳島県の会長に感謝申し上げます。

さて、本年度の会同は、私にとって初めてであり、各県隊友会長はじめ関係者の皆様とコロナを気にせず開催できることを心から嬉しく感じています。

この１年を振り返ると、一昨年12月に作成された戦略三文書により、「防衛力の抜本的な強化」と「関係団体との協力及び充実強化の具体化が進められており、隊友会としても家族支援への協力や退職自衛官の活用等で求められる施策については積極的に協力していきたいと考えています。

そのためには、現職隊員にとって目に見える、自衛隊を支える現場の支部等においての地道な活動の継続であり、会基盤の充実と考えています。その方向性としては、①会員の減少を止めること②活動を支える人の育成③会員及び現職隊員にとって魅力的な事業を提供することと考えます。

４年目を迎えた「引越見積支援サービス事業」や「アウトソーシング支援事業」は、確実に実績を伸ばし隊友会と現職隊員を繋ぐ重要な基盤として定着化が進んでいます。

更に、令和６年度においては、「隊友会活動のあり方」を再認識するとともに、現職隊員にとって身近で目に見える隊友会活動を進めてまいります。

おわりに、国内外で任務に精励される現職隊員に敬意を表し、現場で活躍される各県隊友会の皆様に感謝申し上げます。

令和６年６月24日

---

## 発煙筒

# 更なる防衛力の強化について

画期的な戦略三文書が閣議決定されて約1年半が経ちましたが、策定時前提とした安全保障環境は、この短期間にロシアのウクライナ侵攻長期化やイスラエルのガザ侵攻が生起する等更に厳しさを増してきています。刻々と変化する安全保障環境を考えると、２０２７年を目途に防衛力を抜本的に強化するためには、戦略三文書の見直し・深化が求められます。

例えば、防衛費は、23～27年度の５年間の総額で43兆円に増額されましたが、日米の金利の格差により円安が進み計画どおりにいかない現状になっています。また、有事にも問題があります。ドイツのキール世界経済研究所によると、ウクライナに対して２０２２年1月24日から23年5月30日の期間に、各国は総額約30兆5千億円超の支援をし、最多の米国が全体の３分の１以上を占めると発表しました。その大部分が兵器や弾薬等であり、約30万発の１５５ミリ榴弾砲の弾薬をウクライナ軍は約3か月で消費しています。単純にウクライナとわが国の有事のことを比べることはできませんが、作戦遂行には多額の経費が掛かることは言うまでもなく、まして、有事わが国の経済状況はトリプル安（株式市場、為替市場、債券市場が同時に値下がりする状況のこと）が想定され、強靭な作戦遂行に極めて重大な影響を及ぼします。昨年ウクライナ軍が反転攻勢に転移しましたが充分な軍事支援が得られず停滞・頓挫したのは記憶に新しいことです。更に、肝心の米国は国内の政治状況により支援が滞っていたところ、ようやく約９・４兆円の軍事支援を発表しました。海外からの軍事支援頼みではわが国の防衛は立ち行かなくなります。もちろん、戦略三文書には平素から弾薬等の備蓄、サプライチェーンの改革等を進めることとしていますが、更に予備装備の定数化、後退装備の民間による整備・保管、防衛産業を支援する防衛ファンドやドル建てによる政府基金の設立等、あらゆる分野でわが国独自の準備を進める必要があります。

わが国を取り巻く安全保障環境が益々厳しさを増していく中、戦略三文書を適時に見直し・深化し、政府一丸となり更なる防衛力の強化を進める必要があるのではないでしょうか。

（理事　岩谷要）

---

## 隊友会寄付者芳名

**滋賀県特別会員**
奥村直広　様　1万円
**防衛研究所**
齋藤雅一　様　2万円
**航空自衛隊**
荒木克美　様　1万円

（順不同、六月三十日 現在）

---

隊友会

# 14年振りに新しい帽子を制作

## ー洗練されたデザインと日本のイメージを追及ー

隊友会は、組織の魅力化の一環として新しい帽子を14年ぶりに制作した。

制作にあたっては、各県等隊友会の意見を取り入れ順次制作を進めた。

帽子は、洗練された現代的なデザインの中に日本のイメージを訴える独自性の高いものに仕上がっている。

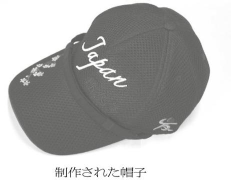
帽子のベースの色は気品のあるロイヤルブルー、帽子の正面にはシルバー字の「JAPAN」、つばには「桜の枝」があしらわれており、ピンクの縁取りを取り入れている。隊友会のロゴマークは帽子の横に入れた。

サイズはLとLLで、後部でサイズを調整できる。

また、行動間にも安心してかぶれるよう顎ひもを使用できるようにしている。

今回の帽子の刷新により、近年制作した隊友会ベスト及び名札と相まって、会員が隊友会に誇りと愛着を持ち、更に積極的に活動に参加していくことが期待される。

※細部色合いはweb版参照


制作された帽子

---

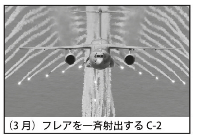
2025 年 自衛隊統合 カレンダー
自衛隊カレンダーの売上部数ナンバーワン！「躍動」

躍動
令和7年
神無月
2025
10
October
名入れスペース

月別写真の例（各月の写真はホームページでご覧いただけます。）

（1 月）厳冬下の雪中行進訓練

（2 月）海自 C-130R・LC-90 編隊飛行


（3 月）フレアを一斉射出する C-2

隊友会会員
特別価格
定価 1815 円(税込)を
1430 円（税込総額表示）【送料別】
申込受付中！（10 月以降発送）

●構成／表紙ともで 13 枚（カラー写真）　●大きさ／ B3 判　タテ型

昭和 55 年創業 自衛隊 OB・OG 会社
TEL:03-3266-0961 FAX:03-3266-1983
株式会社
タイユウ・サービス
ホームページ　タイユウ・サービス　検索
〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町３番 20 号 新盛堂ビル７階

明治安田

会うだけで、よろこんでくれる。
うれしいな。家族って。

ひとに健康を、まちに元気を。
明治安田生命

2022 マイハピネス フォトコンテスト 応募作品
「田植えの休憩はピクニック！」（長本芽恵さま・茨城県）

ひとに健康を、まちに元気を。　みんなの健活プロジェクト　健康を、いっしょに育てよう。　地元の元気プロジェクト　つながり、ふれあい、ささえあう地域社会を。

明治安田生命保険相互会社　〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1　www.meijiyasuda.co.jp